

小唾液腺由来の軟口蓋唾液粘液嚢胞が疑われた猫の1例

鎌田紗帆¹⁾ 森田智也^{1),2)†} 千葉優介²⁾ 藤原玲奈²⁾

1) 岩手大学農学部共同獣医学科小動物病態内科学研究室(〒020-8550 盛岡市上田3-18-8)

2) 岩手大学農学部附属動物病院(〒020-8550 盛岡市上田3-18-8)

(2023年1月11日受付・2023年11月6日受理・2024年3月6日公開)

本文はこちら
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jvma/77/3/77_e39/_article/-char/ja

要 約

10歳齢、避妊雌の雑種猫がスターター（吸気性喘鳴）を主訴に紹介来院し、画像検査で軟口蓋に基部を持つ可動性のある嚢胞が認められた。全身麻酔下にて嚢胞を穿刺吸引すると透明の粘稠性の高い液体が抜去された。嚢胞の部分切除を行い、切除した病変部位を病理組織学的検査に供した。小唾液腺に関する唾液粘液嚢胞を疑ったが、小唾液腺は認められなかったため呼吸上皮由来の嚢胞と診断された。嚢胞の部分切除後は症状が消失し、第183病日において再発もなく良好な経過を示している。——キーワード：猫，小唾液腺，唾液粘液嚢胞，軟口蓋。

-----日獣会誌 77, e39～e42 (2024)